



高島市立マキノ南小学校 学校だより

令和6年度 第 12 号
令和7年3月24日 (月)

児童数 56 名



教育目標

『笑顔あふれ つながり やり遂げる 南小の子ども』

文責 尾中一彦

えがおで終える今年度 えがおで迎える新年度

本日をもちまして令和6年度の教育課程を終え、修了式を行いました。春が近づく2月～3月に「三寒四温」という言葉が使われます。3日間寒い日が続けば、その後4日間は暖かい日が続く。着実に春に近づいていく様子を表したのですが、子どもたちのこの1年も、3歩下がって4歩進むがごとく成長を続けてきました。毎日いっしょに過ごしていると、下がったり停滞したりしているところに目が行きがちですが、一人ひとり確実に成長してきたことを感じています。とくにこの1カ月の進級に向けた成長は目覚ましく、6年生を送り、祝う取組をそれぞれの教室で準備する期間は、笑顔いっぱい楽し練習風景が見られるなど、ステキな弥生3月となりました。

およそ1年前の4月8日の学校だよりには、「えがおがあふれる学校にしたい」ことを書きました。それぞれの子どもたちの「えがお120」は実現されたでしょうか。楽しく学校生活を送ることができたでしょうか。笑顔で登校し、笑顔で学校生活を過ごし、笑顔で下校すること、それが学校に求められる最も大切なことだと考えています。これは4月から始まる新学年でも引き続き大切にしていきたいところです。1年間学校運営にご協力、ご支援をいただきありがとうございました。



3月19日に卒業証書授与式を挙行了しました。6年生5名がマキノ南小学校を巣立ちました。わずか5名という仲間には、それぞれが大きすぎる役割を果たす1年間の姿がありました。その姿を1年間しか見られなかったことが残念でなりません。本当にこれは1年だったのか、薄着で過ごしていた季節は、はるか遠い過去のように、わずか1年間だったとは思えません。それだけ多くの活躍の跡を残したのだと感じています。南小では下級生の手本となって学校をリードしてきました。そして東小・西小の6年生と交流する場面では、その距離を縮めるように過ごして協力し合う姿がありました。マキノ中学校へ進学後の不安もかなり軽減できたものと思っています。

3月の初めに6年生とともに給食の時間を過ごす機会を持ちました。その折、「卒業式で笑わさないでくださいね」と言った児童がいました。笑わせようなんて思いは微塵もないのにおかしなことを言うもののだと思いますが、いつも笑顔を大切にしようとする私のことを気遣ってくれたのかもしれない、もしくは、笑いながら卒業したいのかもしれないと考え、私なりに笑顔で巣立つ、笑顔で祝う式にしたいと考えて式に臨みました。

式辞の後半で卒業生に問いかけました。「5年生に安心して最高学年のバトンを渡すことができますか？」卒業生5名は「もちろん！」という表情で大きくうなずいていました。2月18日に開催された縄跳び大会までの取組、8の字跳びで何回跳べるかを競うための毎日の練習、その場面で見せた下級生を気づかいながら向上させようとする思い、また、6年生を送る会では、最高学年として6年生への感謝の気持ちを込めながらリーダー性を向上させました。それらの姿を見てきた卒業生は、次の世代に託すことに太鼓判を押したのです。これまでもこのように後輩に引き継いできた歴史があり、150年を迎えています。小学校生活をやり切って、安心して後進に任せて去っていく卒業生の姿、これまでの感謝を込めて、晴れの日を心から祝おうとする下級生の姿が織りなす、6年生にとって小学生最後の授業が終わりました。マキノ南小学校同窓生としてたくましく歩んでくれることを願うばかりです。

学校評価について

たいへん遅くなってしまいましたが、2学期末には、学校生活に関するアンケートにご回答いただきありがとうございました。結果を集約し、職員や学校運営協議会委員のみなさまと協議をしました。目立った結果について紹介させていただきます。

まず、私がもっとも大切にしている「学校へ行くことが楽しい」の設問に対して昨年比で8%増の児童が肯定的な回答をしてくれました。「今の自分が好きだ」においても毎年上昇傾向で、今年もさらにその割合を伸ばしました。うれしい限りです。「返事やあいさつがしっかりできる」も児童・保護者ともに向上しています。

ただ、学習面においては、「わからないことはそのままにせず、質問する」に関しては、児童・保護者ともに低下し、「進んで宿題や家庭学習をしている」(児童)「家庭学習の習慣が身についている」(保護者)も、ともに低下したことは課題ととらえて改善に向けた手立てを講じていきます。生活面で目立ったのは、「好き嫌いなく、何でも食べている」「偏食も少なく、食べる量も適量である」が大きく向上したこともうれしい結果でした。

最後に、学校の対応の面において、「学校は、一人ひとりの子を理解し、大切にしている」「子どものことで心配なことがあった時、学校や担任に相談しやすい」「学校は、いじめのない学級、学校づくりに取り組んでいる」のすべてにおいて向上が見られたことは教職員の大きな励みとなっています。次年度も維持できるよう努めて参ります。なお、詳しい結果(グラフ)は、後日、ホームページで公開する予定をしています。

次年度の学級編制について

1月21日、学習参観の機会をお借りして1.2.3年生の保護者のみなさまに学級編制についての説明をさせていただきました。連続する2つの学年の児童の数が17名に満たない場合は1つの学級として複式学級編制とすることが法律で規定されているためです。次年度の2.3年生は合わせて15名、3.4年生は合わせて13名となり、どちらも複式学級となってしまいます。この場合、より年少の学年を複式として編制するという規則があり、次年度は2.3年生を1つの学級として学校運営をすることになりそうであること、その場合の時間割の例などをお伝えしました。

ところが、ありがたいことに複式学級編制を解消できるよう教員1名を配置していただけることになりました。昨年度も同じような状況でありながら、教員が配置されることになったのですが、今年はそれは難しいと考えていましたので、少々驚いています。令和7年度も今年度と同様に6学年6名の担任体制がとれることになりました。あらかじめお知らせさせていただきます。

わたSHIGA輝く国スポ 開会まで188日 みなさんで盛り上げましょう

わたSHIGA輝く国スポ

2025年5月18日

マキノ地域特設ウォーキングコース
スタート/ゴール マキノ駅前広場

4.5.6年制作の応援のぼり旗
(宮崎・鹿児島・沖縄)

スタンプラリー
高島市マキノ地域の自然の魅力を感じながら、スタンプラリーを楽しんでいただきます。
チェックポイント (ロングコース6箇所、ショートコース3箇所)
マキノ駅前広場で高島の特産品マルシェを開催します。

マルシェ

スケジュール
受付 9:00 スタート 10:20
開会式 10:00 ゴール 14:00 までにゴール

マキノ地域特設ウォーキングコース

マキノ駅前広場

マキノ南小学校

さて、滋賀県で今年最大のイベントである国民スポーツ大会が迫っています。このたび、南小に割り当てられた3県の選手に向けた「応援のぼり旗」が完成しました。また、先日チラシを配付しましたが、5月にマキノでもイベントが開催されます。すでに申し込み期限は過ぎていますが、定員に余裕があれば参加可能ですので、市民スポーツ課(25-8560)へお問い合わせください。ウォーキングに参加しなくても、当日はマルシェも開催されます。そこへ集い、みなさんでマキノへ来られる方々を笑顔で迎える機会にさせていただくのも自分なりのイベントの参加となります。



4月のおもな学校行事予定(変更になることがあります)

7日 (月)	入学式準備(新5.6年登校)	18日 (金)	たてわり遠足下見(6年)
8日 (火)	新任式 始業式 入学式	21日 (月)	委員会活動
9日 (水)	給食開始(2~6年)	22日 (火)	1年生を迎える会
	給食後下校	23日 (水)	避難訓練
11日 (金)	給食後下校		図書館訪問貸し出し
14日 (月)	児童自宅確認		学校運営協議会
15日 (火)	PTA理事会	25日 (金)	学習参観・PTA総会・地区懇談
	児童自宅確認		学級懇談・ひびきあい委員会総会
16日 (水)	給食開始(1年)	29日 (火)	昭和の日
17日 (木)	全国学力・学習状況調査(6年)		新年度に改めて確定版をお知らせします。